

平成 30 年度第 1 回浦安市児童センター運営懇談会

- 会議資料 別紙参照
- 開催日時 平成 30 年 6 月 7 日 (木) 午後 6 時 30 分～8 時
- 開催場所 総合福祉センター 2 階 第 2 会議室
- 参加者
 - (委員) 手塚委員 (浦安市小中校校長会)
 - 中島委員 (民間有識者 NPO 法人 i-net)
 - 牟田委員 (民間有識者 浦安こども劇場)
 - 本田委員 (民生委員児童委員協議会)
 - 岡田委員 (民生委員児童委員協議会)
 - 高倉委員 (青少年相談員連絡協議会)
 - 山田委員 (青少年相談員連絡協議会)
 - 松良委員 (子ども会育成連絡協議会)
 - 小泉委員 (子ども会育成連絡協議会)
 - 三代川委員 (健康こども部保育幼稚園課長)
 - 平林委員 (健康こども部青少年課長)
 - (事務局) 健康こども部児童センター 河野所長
 - 東野児童センター 泉澤・海老原・奥山・中里・吉清
 - 高洲児童センター 飯沼・高梨・村松
- 開式
- 児童センター所長挨拶
- 委嘱状交付
- 自己紹介 委員・事務局
- 会長挨拶
- 議事
 - (1) 平成 29 年度事業報告
 - (2) 平成 30 年度事業計画
 - (3) その他
- 閉会

○ 開式 事務局 泉澤

東小学校長・保育幼稚園課長・青少年課長が人事異動により変わったことを報告。

○ 河野所長挨拶

今年度は人事異動が多く、東野児童センターでは2名、高洲児童センターでは1名増となった。私も東野と高洲の所長が兼務になった。

こどもまつりが無事に終わり、今は県民の日のイベントに向かい準備に追われているところである。今後も児童センターに足を運び様子を見ていただきたい。

○ 委嘱状交付 ・手塚東小学校長・三代川保育幼稚園課長・平林青少年課長

○ 自己紹介 ・各委員より ・事務局より

○ 会長挨拶 手塚会長

○ 議事

(1) 平成29年度事業報告

1 東野児童センター事業報告 泉澤

- ・利用実績 (P5～P8) について
- ・子育て支援事業 (P9.10) について
- ・こども健全育成事業(P11.12)について

① チームハッピーについて 海老原

みんなにパッピーを届けたいという願いを込め表現活動を行っており、今年度は女子9名で活動している。ダンスの習い事が気軽にできる昨今、自分達で踊りや演出を考え披露している。職員がサポートしながら力を十分発揮できる場をこれからも大切にしていきたい。

② キッズスタッフについて 中里

3年生から6年生までの子ども達がセンターの行事や活動にスタッフの一員として活動しており、今年度は3・4年生6人が新規加入している。子ども達からの発想を大切にして、企画・参加双方が楽しめるイベントになるようにしていきたい。

・地域貢献事業について (P13.14) について 泉澤

① すみれ会について 奥山

読み聞かせボランティアグループとして、東野・高洲の児童センターで絵本や紙芝居、手遊び歌を子どもに披露し、楽しい時間を提供している。児童センターが地域貢献や子育て支援をしたいと望むボランティアとその支援を喜ぶ利用者を繋ぐ存在として機能している。

2 高洲児童センター事業報告

- ・利用実績（P16～P19）について 飯沼
- ・子育て支援授業（P20）について 村松

てくてくらぶは、2歳児を対象とした登録制の親子サークル。

保育士主導での遊びを提供。季節行事や、年齢に即した8回の活動を通して交流を図り、子育てを楽しめるよう努めている。回を重ねるごとに安心できる居場所として定着し、親子とも笑顔で来館され活動に参加していた。

- ・こども健全育成事業（P21.22）について

① ジャグリング・皿回し体験・縄跳びで遊ぼう 飯沼

講師の援助もあり、子ども達は成功体験をすることができ、その後も取り組んでいる姿がみられ、保護者も一緒に楽しむことができた。

② 高洲わんぱくキッズ 村松

遊びや活動を通して、家庭や学校とは異なる人との出会い、異年齢のかかわりの中で社会性を育み、成功体験から自信をもてるような活動をしている。

今後は経験を重ねて、自分たちでイベントの計画や実施、またキッズ新聞を作成し、館内に掲示するなど、力を発揮できるようにサポートしていきたい。

◎質疑応答

会長 各センターより報告があった内容について質問はないか

委員 P23「夏休みボランティア体験」の内容について

飯沼 こんぺいとうサロンに入ったり、利用者の遊び相手になったりしてかかわりをもつことができた。

委員 東野小学校の運動会で生き生きと踊っている子ども達の姿が印象的だった。児童センターの利用も減ってきているということで、今の子ども達は忙しすぎるのだろうか。募集すれば活動する子どももたくさんいると思う。

所長 今の子どもは毎日のように習い事をしていて、時間に追われている。児童センターでは、チームハッピーを募集しており、その指導者として専門の人を依頼する予算を立てたり、ボランティアを探したりする方法もあるが、児童センターならではの良さを発揮できるようにしていきたい。

委員 キッズなどの主体的な活動の場があって良いことと思う。本来は子ども会の役割だが、地域の繋がりや子ども会が減っているために児童センターにも役割を担ってもらっている。

(2) 平成 30 年度事業計画

- 1 東野児童センター事業計画 (P15) 泉澤
- 2 高洲児童センター事業計画 (P24) 高梨
- 3 来館者推移について (P25) 高梨

高洲児童センターは増えている。親子が来館しやすいような事業、近隣の学校にセンターのお知らせの配布やポスターなどの掲示をお願いしているのが利用者増加の要因ではないか。

会長 29 年度事業の成果と反省を踏まえて 30 年度の計画を立てていると思うが、意見はないか。

委員 中高生の参加が少なく、小学生をメインにしている事業が多い。ボランティア育成につながるので、中高生の事業にも力を入れてほしい。

委員 赤ちゃんとのふれ合いは素敵な事業だと思う。赤ちゃんから 18 歳までを対象にしている児童センターの特徴と取り組みが合っている。

所長 事業をすれば人が集まる状況であり、事業の運営準備は整ってきている。東野と高洲の情報交換をして今後の運営に活かしていきたい。

委員 土日にも事業があり、稽古事ではなく行ける場所があることは子ども達にとっていいことだと思う。

委員 おさんぽバスの運行も増えて市内を巡回するようになり、他地域から遊びに来やすくなった。車内にポスター掲示するなど宣伝を検討してはどうか。

所長 小学生のバス代が無料になったことで行き来が便利になったが、判断のできる高学年ならいいが公共機関を使うと危険を伴う難しい面もある。

会長 学区もなくなり、小学生の行動範囲も広がってきた。

委員 富岡地区は、バスの便が不便であり湾岸の歩道橋も危険なので、富岡からの利用が少ないのではないだろうか。

会長 安全安心のことは 1 番に考えていかなければならない、防犯の問題は大きい。
これで、議事は終了する。

青少年課長 青少年課夏休み期間中の事業 (キャンプ・洋上研修) について案内。

○ 閉会